

進路だより「^{さい}犀」

進路だより 第7号
令和6年1月19日
大垣商業高等学校
定時制進路支援部

○ 職業の移り変わり

先日、始業の会でジェスチャーのクイズを出しました。正解は「証券取引所で株の売買を伝達する手サイン」でした。商業科の先生から聞いたのですが、以前はその手サインが教科書に載っていて、授業でも扱っていたそうです。

この職業は「場立人」と呼ばれましたが、平成27年の国勢調査では職業分類から削除されています。現在はコンピュータによるシステム売買が行われており、場立人が職業として存在しなくなったからです。

このように、職業は時代によってなくなったり、新しく誕生したりします。平成の期間になくなった職業、新しくできた職業の例を挙げてみましょう。(あくまで職業分類上の話です。削除された職業に現在も従事している人は、少ないですがいらっしゃると思われまますので、注意してください。)



～ 職業分類から削除された職業の例 ～

- ・ワードプロセッサ操作員、タイピスト
→ ワープロを操作して文章を打ち込む専門の職業
- ・呼売人
→ 商品名を呼びながら売り歩く職業 (豆腐・焼き芋など)



～ 職業分類に新しく登場した職業の例 ～

- ・システムコンサルタント
→ 企業が抱える課題を分析し、ITやシステムの導入によって解決に導く職業
- ・リサイクルショップ店主、店員
- ・心理カウンセラー



参考：中島ゆき 国勢調査から消えた「平成の職業」・国勢調査より「平成で新たに誕生した職業」



職業分類にはまだありませんが、最近目立つのは動画配信を職業にする人 (いわゆる YouTuber) やインフルエンサーでしょうか。このような職業が出てくることは、平成初期には想像もつかなかったことです。昨今の職業の変化は、コンピュータやネットワークの急速な発達が大きな要因の一つとなっています。

皆さんは今後どのような職業が誕生すると思いますか？想像力を働かせて、考えてみましょう。例えば、人工知能 (AI) に関わる職は増えていきそうですね。

社会全体がどんどん変化をしていますので、自らの遠い未来について、どれだけ想像しても具体的な姿を思い浮かべるのは難しいかもしれません。しかし、将来について真面目に考えてみることは大切です。

「好きなことを仕事にしたい」、「人の役に立ちたい」、「自立をしたい」、「趣味のためにお金を稼ぎたい」、働く目的は人それぞれだと思います。それを実現するために、今なりたい自分の姿を考え、常にアップデートしていきましょう。考え続けることが、時代の変化に対応できる力を生んでいくはずですよ。